



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 戸田工業株式会社

コード番号 4100 U R L <https://www.todakogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 久保 恒晃

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 友川 淳

T E L 082-577-0055

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 21,158	% △2.8	百万円 790	% -	百万円 △94	% -	百万円 △310	% -
2025年3月期第3四半期	21,757	10.9	△205	-	△217	-	△799	-

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △67百万円 (-%) 2025年3月期第3四半期 △51百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 △53.77	円 銭 -
2025年3月期第3四半期	△138.41	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 48,549	百万円 11,698	% 22.6
2025年3月期	50,672	11,777	21.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 10,970百万円 2025年3月期 11,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 28,500	% △10.0	百万円 1,000	% -	百万円 △300	% -	百万円 △700	% -

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	6,099,192株	2025年3月期	6,099,192株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	311,464株	2025年3月期	317,912株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	5,783,219株	2025年3月期 3Q	5,779,716株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策の動向や日中関係の悪化による影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、2030年度（2031年3月期）のありたい姿や2024年度（2025年3月期）から2026年度（2027年3月期）までの3ヶ年を実行期間とする中期経営計画「Vision2026」で掲げたKPIの達成に向けて、選択と集中を加速させ、さらなる事業ポートフォリオマネジメントの強化を推し進めております。事業ポートフォリオマネジメントにおいて成長事業と位置付けている磁石材料及び誘電体材料はさらなる事業拡大を図っております。磁石材料の主な用途は自動車のモータやセンサであり、自動車部品の小型化・軽量化ニーズによる需要拡大に対応するため、経営資源を投入しております。また、誘電体材料の主な用途は自動車やICT機器等に搭載される積層セラミックコンデンサであり、さらなる小型化、高容量化が求められております。当社は独自の微粒子合成技術による150nm以下に特化した製品の開発及び製造を進めていることに加え、お客様に乾燥前の微粒子をご提供することで、高品質かつ微粒子分散の手間の軽減を実現可能とする分散体を提供することも目指しております。再生・転換事業と位置付けている着色材料やトナー用材料は、製品の価格は正活動や原価低減及び諸経費削減等の合理化活動を推し進めております。次世代事業と位置付けている環境関連材料においては、CO₂分離回収材料等の環境負荷低減に貢献する新素材の開発を進め、早期事業化を目指し、経営資源を重点的に投入しております。

こうした状況のもと、Vision2026の2年目となる当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は21,158百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は790百万円（前年同期は営業損失205百万円）、経常損失は94百万円（前年同期は経常損失217百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は310百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失799百万円）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(機能性顔料)

記録材の需要は好調に推移し、前年同期に比べ伸長いたしました。一方、トナー用材料において一部顧客による在庫調整の影響を受けたこと等により、売上高は前年同期比2.5%減の5,849百万円となりました。セグメント利益は、原価低減及び諸経費削減に加え、製品の価格は正活動等の効果により前年同期比60.3%増の1,105百万円となりました。

(電子素材)

誘電体材料はAIサーバー及び周辺機器向けMLCC（積層セラミックコンデンサ）の需要が大幅に増加していることにより、第3四半期連結累計期間として過去最高の売上高となりました。一方、磁石材料や軟磁性材料は自動車市場における新車販売台数の減少や中国における同業他社との競争激化により苦戦いたしました。また、Vision2026にて再生・転換事業と位置付けているハイドロタルサイト事業の協業活動を解消した影響もあり、売上高は前年同期比2.9%減の15,682百万円となりました。利益面においては、拡販活動や原価低減及び諸経費削減の効果に加え、解散及び清算することを決定した戸田アドバンストマテリアルズInc.においても費用の減少や在庫の販売により、前年同期に比べ業績が大幅に改善しております。以上のことから、セグメント利益は前年同期比37.3%増の1,787百万円となりました。

営業外収支においては、LIB用材料の製造を営んでいる持分法適用関連会社の収益がEV需要の低迷により減少したこと等により、持分法による投資損失を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は48,549百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,123百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が591百万円、投資有価証券が1,160百万円増加したものの、現金及び預金が737百万円、受取手形及び売掛金が577百万円、商品及び製品が705百万円、のれんが401百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は36,851百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,043百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が392百万円、借入金が762百万円、流動負債のその他が623百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は11,698百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が788百万円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失310百万円の計上、為替換算調整勘定が530百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年11月11日の「2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	8,078	7,341
受取手形及び売掛金	8,295	7,718
商品及び製品	4,130	3,425
仕掛品	2,001	1,810
原材料及び貯蔵品	1,853	2,149
その他	1,469	1,134
貸倒引当金	△21	△20
流动資産合計	25,807	23,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,848	1,858
機械装置及び運搬具（純額）	1,636	1,824
土地	5,529	5,528
建設仮勘定	989	1,260
その他（純額）	461	585
有形固定資産合計	10,465	11,056
無形固定資産		
のれん	2,708	2,307
その他	55	197
無形固定資産合計	2,763	2,505
投資その他の資産		
投資有価証券	3,374	4,534
関係会社出資金	7,572	6,135
その他	691	762
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	11,634	11,429
固定資産合計	24,864	24,990
資産合計	50,672	48,549

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,364	2,972
短期借入金	8,428	8,383
1年内返済予定の長期借入金	4,796	4,656
未払法人税等	138	100
賞与引当金	275	86
関係会社整理損失引当金	955	657
その他	2,219	1,596
流動負債合計	20,179	18,453
固定負債		
長期借入金	14,540	13,963
退職給付に係る負債	2,268	2,303
その他	1,905	2,132
固定負債合計	18,715	18,398
負債合計	38,894	36,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,477	7,477
資本剰余金	4,297	4,281
利益剰余金	△3,988	△4,299
自己株式	△1,428	△1,398
株主資本合計	6,357	6,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,475	2,263
為替換算調整勘定	2,785	2,255
退職給付に係る調整累計額	394	390
その他の包括利益累計額合計	4,655	4,909
新株予約権	114	107
非支配株主持分	650	620
純資産合計	11,777	11,698
負債純資産合計	50,672	48,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	21,757	21,158
売上原価	17,201	15,976
売上総利益	4,556	5,181
販売費及び一般管理費		
従業員給料	1,031	948
賞与引当金繰入額	125	121
退職給付費用	66	72
研究開発費	1,141	1,043
その他	2,397	2,205
販売費及び一般管理費合計	4,762	4,391
営業利益又は営業損失（△）	△205	790
営業外収益		
受取利息	56	41
受取配当金	74	80
持分法による投資利益	117	-
為替差益	4	307
その他	94	91
営業外収益合計	347	520
営業外費用		
支払利息	337	321
持分法による投資損失	-	1,068
その他	22	15
営業外費用合計	359	1,405
経常損失（△）	△217	△94
特別利益		
固定資産処分益	42	0
保険解約返戻金	-	3
受取補償金	92	-
特別利益合計	134	4
特別損失		
固定資産処分損	18	4
環境対策引当金繰入額	-	3
減損損失	309	-
その他	-	0
特別損失合計	328	9
税金等調整前四半期純損失（△）	△410	△99
法人税、住民税及び事業税	319	345
法人税等調整額	58	△146
法人税等合計	378	199
四半期純損失（△）	△789	△299
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	11
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△799	△310

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失（△）	△789	△299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	581	787
為替換算調整勘定	132	△420
退職給付に係る調整額	△55	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	79	△131
その他の包括利益合計	737	232
四半期包括利益	△51	△67
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△87	△56
非支配株主に係る四半期包括利益	35	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	363百万円	383百万円
のれんの償却額	432	297

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能性顔料	電子素材			
売上高					
外部顧客への売上高	5,988	15,768	21,757	-	21,757
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	381	395	△395	-
計	6,002	16,150	22,152	△395	21,757
セグメント利益 又は損失 (△)	689	1,301	1,990	△2,196	△205

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△2,196百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,196百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機能性顔料」「電子素材」及び各報告セグメントに帰属しない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「機能性顔料」で182百万円、「電子素材」で38百万円、各報告セグメントに帰属しない全社資産で88百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能性顔料	電子素材			
売上高					
外部顧客への売上高	5,842	15,315	21,158	-	21,158
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	366	373	△373	-
計	5,849	15,682	21,532	△373	21,158
セグメント利益	1,105	1,787	2,892	△2,101	790

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,101百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用

△2,101百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費
であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。